

## 教科の目標

- 1 自由・権利と責任・義務を正しく認識し、民主主義を理解することで公民としての資質を育てる。
- 2 個人と社会・経済との関連を理解し社会への洞察力を高めるとともに自ら考えようとする態度を育てる。
- 3 国際社会の現状を知り、平和、共生社会の重要性と達成への道程を理解させる。
- 4 社会事象を多面的に考察し、公正に判断する能力を育てる。

## 評価の観点

- 1 広い視野に立ってより良い社会とは何かを考察し、公民としての責任を果たそうとする。  
(主体的に学習に取り組む態度)
- 2 社会的事象から課題を見だし、その意義や役割を考察し、その結果を適切に表現している。  
(思考・判断・表現)
- 3 さまざまな資料から有用な情報を選択し、考察の結果を効果的に発表でき、政治や経済のしくみを理解し、基礎的な知識を身につける。  
(知識・技能)

## 評価の方法

- 1 授業中の態度や参加の様子がまじめで意欲的であり、考えを発言する。
- 2 課題に対し、多角的・多面的に考察し、言葉や文章等により解決することができる。
- 3 課題に対する適切な資料を収集し、解決のために利用することができる。
- 4 授業内容を知識として構築し、定期テスト(中間・期末)で解答することができる。

## 特色ある学習方法

- 1 問題解決型学習を單元によって導入し、思考力・判断力・表現力を育成する。
- 2 話し合い活動を通し、他者からの情報を分析する能力を高める。
- 3 課題に対する調査活動を行い、適切な資料を収集し活用する能力を養う。
- 4 基礎的事項の理解、定着を図るため、まとめ作業やレポート作成等を行う。

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	第1章 現代社会と私たち 1節 現代社会の特色と私たち 2節 私たちの生活と文化 3節 現代社会の見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を基に、グローバル化、情報化、少子高齢化などが政治、経済、国際関係に与える影響を考える。</li> <li>・現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があつたことを具体的事例と関連づけて理解させる。</li> </ul>
	第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本憲法 2節 人権と共生社会 3節 これからの人権保障 第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 2節 国の政治のしくみ 3節 地方自治と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の基本原理を社会の形成者としての立場から具体的な生活とのかかわりを通じて理解させ個人の尊厳と両性の本質的平等、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活のルールになっていることに気づかせる。</li> <li>・現代社会の様々な人権課題の解決や共生社会の実現に向けた取組に積極的にかかわろうとする態度を育てる。</li> <li>・国会を中心とするわが国の民主政治のしくみ、地方自治の基本的な考え方としくみについて理解する。</li> <li>・政治に関する新聞記事を自らの学習に活用し、実生活との関連を深め、現在の政治について考える。</li> <li>・国会、内閣、裁判所の三権について相互の関係を理解する。</li> <li>・地方自治のしくみを首長と議会の関係を中心に理解する。</li> <li>・地方政治の課題を見つけ、解決するための方策を考える。</li> </ul>
二 学 期	第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済 2節 生産と労働 3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な消費生活を通して、経済活動の意義や生産、流通、消費という経済の大まかなしくみを理解する。</li> <li>・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。</li> <li>・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解させる。</li> <li>・財政及び租税の役割について、多角的・多面的に考察、構想し、表現させる。</li> <li>・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。</li> </ul>
	第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示資料や調査資料、視覚教材をもとに、資源、エネルギー、環境問題の現状を捉え、解決策を考える。</li> <li>・世界の紛争状況を知り、国際連合の意義を理解する。</li> <li>・提示資料や調査資料、視覚教材を</li> </ul>
三 学 期		

期	球社会と日本  終章 よりよい社会 を目指して	もとに、相互依存関係の深まりを 理解し、世界平和実現への方法を 考える。  ・社会的な見方・考え方を働かせ、 私たちがより良い社会を築いてい くために解決すべき課題を多面的 ・多角的に考察、構想し、自分の 考えを説明論述させる。
---	----------------------------------	--